

(仮称)大矢知こども園、(仮称)下野こども園 基本計画 概要版

1. 背景・目的

本市において、保育園では近年の保育需要の増大から引き続き受入枠の確保が必要となる一方で、幼稚園では入園児数の減少によりこどもがお互いに関わり合いながら遊び、学び合うことのできる集団規模を維持することが難しくなっています。

そのため、幼稚園と保育園の両方の機能を併せ持つ認定こども園への再編整備を推進しており、大矢知地区、下野地区についてはそれぞれ園舎の老朽化が進んでいるため、地区内にある幼稚園、保育園を統合して新たに幼保連携型認定こども園として園舎を整備することになりました。本計画は新園舎の設計時に反映すべき基本的な方針を示すことを目的としています。

2. 対象施設・事業スケジュール

こども園整備候補地等と開園までのスケジュールを以下に示します。



表 開園までのスケジュール

対象園	年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
		大矢知地区	大矢知幼稚園	→					
	大矢知保育園	→							
下野地区	下野幼稚園	閉園							
	下野保育園	→							(仮称)下野こども園
	下野中央保育園	こども園化	→						

図 こども園整備候補地等

3. 新しいこども園づくりの基本方針

市の関連計画や調査・検討を踏まえ、新しいこども園整備の基本方針を定めました。

1 「生きる力」「共に生きる力」の基礎を育む施設



2 安心・安全に利用できる施設



ユニバーサルデザイン バリアフリー
 誰もが便利に利用できるようなデザイン
 高齢者や障害のある方の使いづらさを軽減
 例：
 ・文字でなく絵で伝えるサイン計画
 ・強い力がなくても開けやすい扉
 ・スロープの設置
 ・多目的トイレ
 ・EVCの設置
 ・階段の手摺
 両方の観点から使いやすい施設へ

3 多様性に配慮した施設



4 遊びながら学べる施設

5 保護者・保育者の安心できる施設



6 地域の子育てを支える施設



7 地域に愛される施設



この方針を基に、保護者の方が安心でき、地域に温かく見守っていただける施設となるよう進めていきます。

4. 本計画での主な検討内容

計画策定にあたり、以下のような検討を行いました。

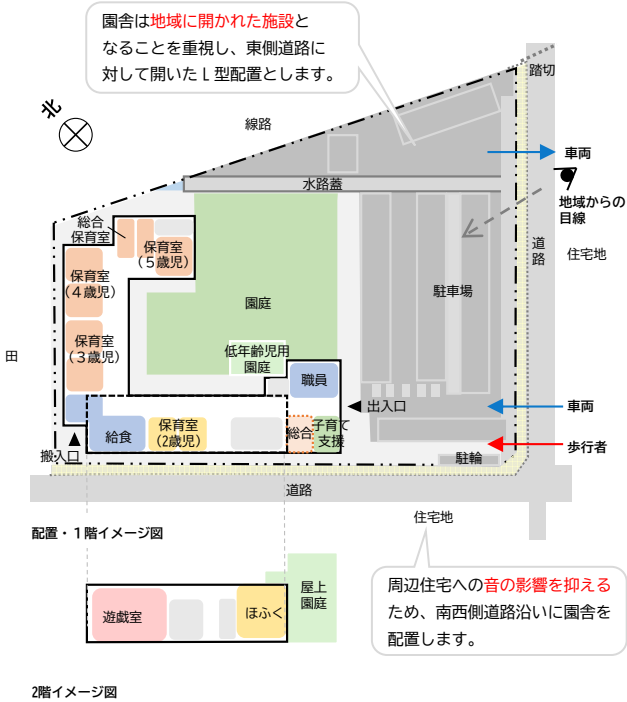
検討協議会の実施 (計3回)	計画の各段階で地域代表・保護者代表・園長・小学校校長等様々な立場の委員が参加する協議会を実施し、意見を反映させ計画策定を進めていきました。
整備対象園の現地調査の実施	整備対象園の現地調査により、各室や設備の現状、実際の使われ方を把握し、現園の課題点を踏まえた整備計画を検討しました。
敷地周辺の安全性や配慮事項の把握	敷地周辺の車両交通や小中学校の通学路の現地調査、災害ハザードや周辺環境を踏まえ、安全性に配慮した駐車場の計画や周辺住民へ配慮した建物配置を計画しました。
保護者・園長アンケートの実施	整備対象となる5園の保護者・他地区も含めた公立園の園長へのアンケートを行い、現状の課題や新園への要望を抽出し、計画に反映しました。

5. (仮称)大矢知こども園、(仮称)下野こども園 基本計画

2.～4. までの検討や基本方針等を踏まえ、新しいこども園の配置、平面イメージ図を作成しました。

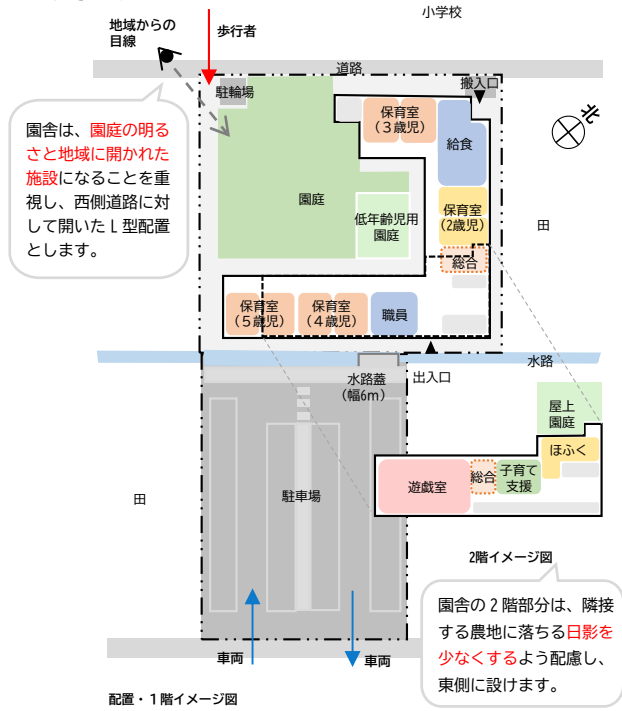
(仮称)大矢知こども園

想定園児数：115～145 人（園児数の確定は R9 年度）
 延床面積：約 1,500 m²
 駐車台数：40 台以上（思いやり駐車場含む）
 浸水想定：0～3m



(仮称)下野こども園

想定園児数：124～154 人（園児数の確定は R9 年度）
 延床面積：約 1,700 m²
 駐車台数：39 台以上（思いやり駐車場含む）
 浸水想定：0.5～3m



■(仮称)大矢知こども園の配置計画

- ・周辺道路が小学生の通学路であることに配慮し、南東側道路沿いの敷地を道路状空地とすることで、**小学生の安全対策**に対応できるようにします。

■(仮称)下野こども園の配置計画

- ・敷地中央を通る既存の水路には、**転落事故防止のためフェンス**を設けます。地域住民の方が水路清掃の際に通り返けるよう、階段・出入口を設けます。

■平面計画（両園共通）

- ・万が一の浸水時に子どもたちの安全を守るよう、**遊戯室は2階とし十分な避難スペースを確保し、自力避難の難しい1歳児のほふく室は2階**とします。
- ・4～5歳児はクラスを超えた集団での活動も想定し、**2室を一体利用できる**つくりとします。
- ・低年齢児の保育室は出入口の近くとし、**保護者の送迎負担軽減**に配慮します。
- ・園庭は3～5歳児と低年齢児を分け、それぞれの**保育室から直接行き来しやすい配置**とします。
- ・**子育て支援センター**は立ち寄りやすさに配慮し、出入口から近い位置に設けます。また、**総合保育室**と隣接させ、一体利用できるつくりとして、**多目的に対応しやすい空間**とします。
- ・園舎の出入口は、**セキュリティ**に配慮して駐車場側に設け、集合玄関とします。

※イメージ図は整備条件や要望を整理した、現時点での想定であり、今後の設計で変更する場合があります。

6. 今後の課題・整備に向けて

大矢知地区では通学路の安全対策について、今後も PTA の方や地域の方とともに具体化に向けた協議を続ける必要があります。下野地区では実際の人口減少が推計以上に早いペースで進む可能性があるため、今後の園児数の動向を踏まえ、状況に応じて適切な施設規模を設定します。

将来的には園児数が減少すると考えられるため、園児数の変化に対し柔軟に対応できる施設整備を進めます。

(仮称)大矢知こども園、(仮称)下野こども園基本計画

令和7年3月 発行 四日市市 編集 四日市市こども未来部 保育幼稚園課
 〒510-0085 四日市市諏訪町2番2号 TEL：059-354-8137 FAX：059-354-6013